

## 第80回 日本栄養・食糧学会大会

### 「ルテイン・ゼアキサンチンが VDT 作業後の視力に及ぼす影響： ランダム化二重盲検プラセボ対照試験」について発表のお知らせ

弊社は、マリーゴールド由来ルテインおよびゼアキサンチンの摂取が、VDT(パソコンやスマートフォンなどのディスプレイ)作業に起因する一時的な視力低下の抑制に及ぼす影響を評価しました。

試験の結果、摂取12週目における「VDT作業前後の優位眼遠方視力の変化量(主要評価項目)」において、ルテイン・ゼアキサンチン摂取群はプラセボ群と比較して有意な視力低下の抑制が確認されました( $p < 0.05$ )。

本研究成果を、第80回 日本栄養・食糧学会大会にて口頭発表いたしました。

#### ■試験概要

- 対象者 : 60分間のVDT作業負荷後に優位眼の視力が低下する健常成人  
試験デザイン : ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験  
試験食品 : ルテイン(40 mg/日)およびゼアキサンチン(2 mg/日)を含有したソフトカプセル  
主要評価項目 : VDT負荷前後の優位眼視力の変化量  
副次評価項目 : VDT負荷前後の各視力、近点視力、眼圧等  
摂取期間 : 12週間

#### ■学会発表概要

- 学 会 : 第80回 日本栄養・食糧学会大会  
会 期 : 2026年5月15日~17日  
場 所 : サンポート高松  
演題名 : ルテイン・ゼアキサンチンがVDT作業後の視力に及ぼす影響:ランダム化二重盲検プラセボ対照試験(演題番号:2J-06a)  
発表者 : 関川 貴寛<sup>1)</sup>、Li Yanmei<sup>2)</sup>、山田 高広<sup>3)</sup>  
1)BGG Japan(株)、2)Beijing Gingko-Group Biological Technology、3)西新井駅前クリニック  
眼科整形外科